

1. 構造名

スラグせっこう板張／中空木造下地軒裏

2. 寸法

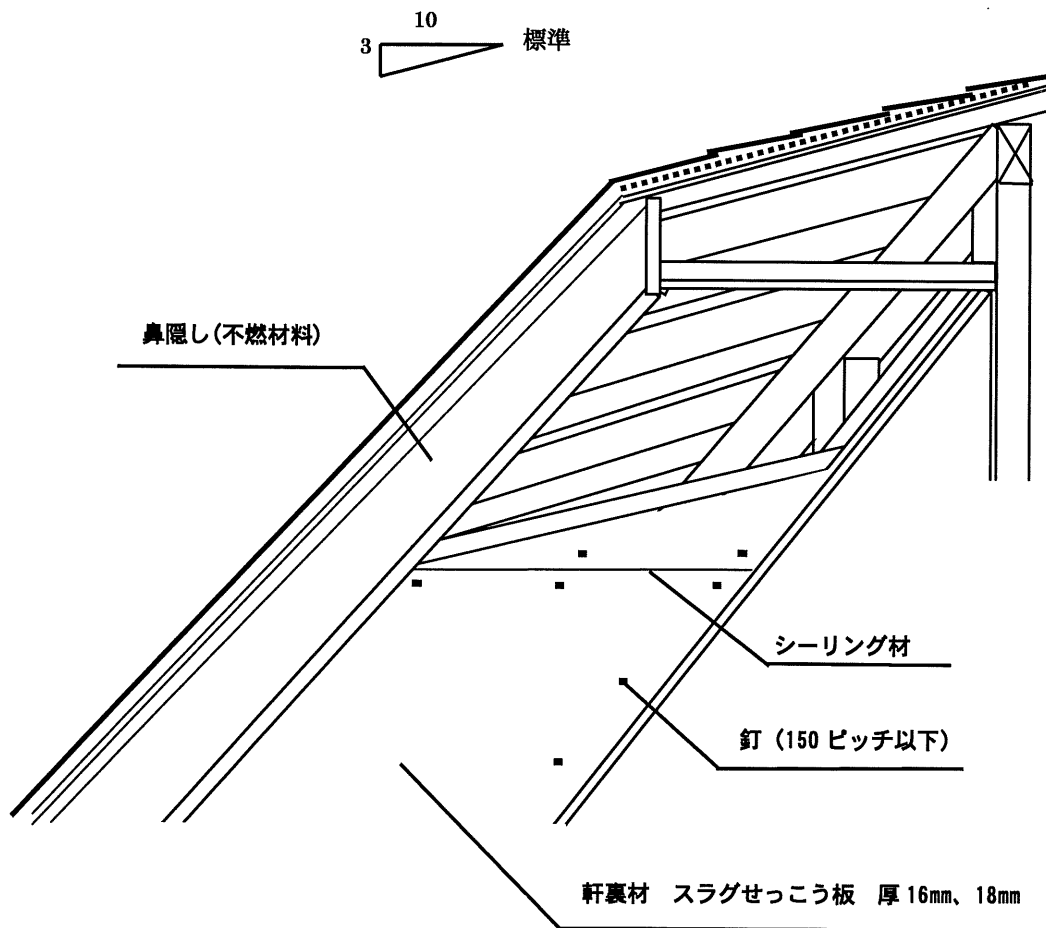
軒の出は、1,000 mm以下とする。軒の幅については、構造計算等により構造安定性が確認できる大きさとする。

3. 材料構成等

項 目		製 品 仕 様 等	
被覆材	材料名	スラグせっこう板	
	規格	(旧)不燃第 1030 号	
	形状	平板	
	端部の形状	スクエアー、ベベル	
	表面の形状	平滑、エンボス（最低厚さは 16 mm 以上）	
	厚さ (mm)	16・18 ± 1	
	大きさ (mm)	軒の出方向 1,000 以下 軒の幅方向 最小：910 最大：2,730	
	かさ比重	1.0 ± 0.2	
	留め付け方法	釘（φ 2.1 × 38 mm 以上）またはタッピンねじ（φ 3.5 × 25 mm 以上）を用い、150 mm 以下の間隔で留め付ける。	
	釘等	鉄丸釘（φ 2.1 × 38 mm 以上）、ステンレス釘（φ 2.1 × 38 mm 以上）、タッピンねじ（φ 3.5 × 25 mm 以上）	
目地処理材	目地部は、シーリング材（アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、変性シリコーン系）による処理を行う（100g/m 以下）。		
下地材（軒裏の下地材は木造に限る）	野縁の種類	針葉樹の構造用製材、造作用製材または下地用製材	
	野縁の断面寸法及び取付間隔	断面寸法 軒の出が 500 mm 以下の場合は 36 × 40 mm 以上とし、軒の出が 500 mm を超えて 1,000 mm 以下の場合は 40 × 45 mm 以上とする。 取付間隔 455 mm 以下	
断熱材（必要に応じて、①または②をスラグせっこう板の裏側に充填する）	材料名	①グラスウール断熱材	②ロックウール断熱材
	規格	J I S A 6301 J I S A 9521	J I S A 6301 J I S A 9521
	厚さ (mm)	25 以上	25 以上
	密度 (kg/m ³)	16 以上	25 以上

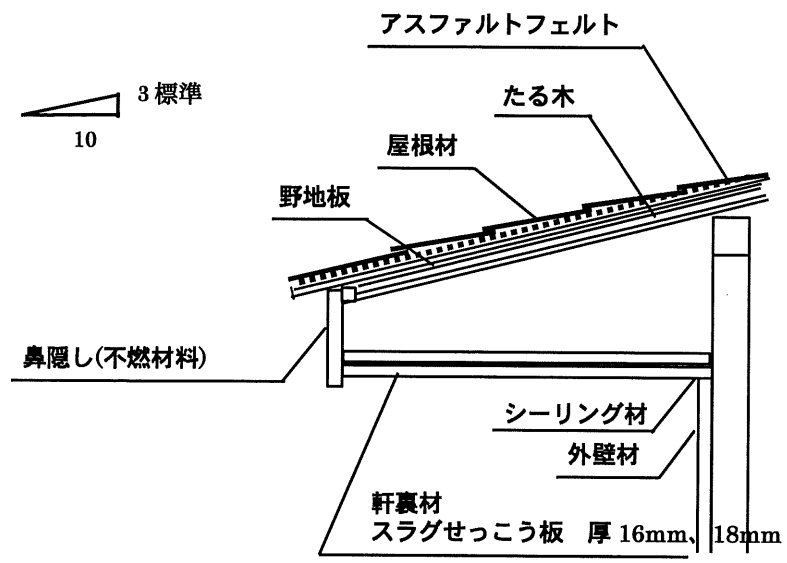
4. 構造説明図

(単位：mm)

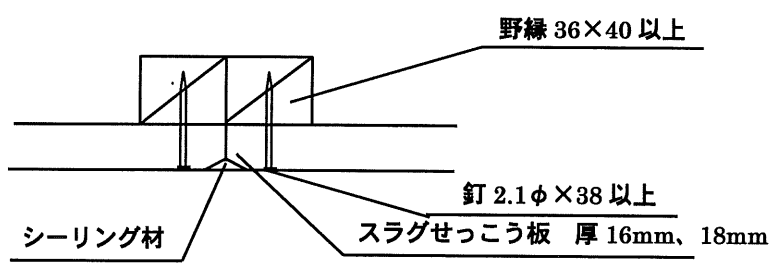


透視図

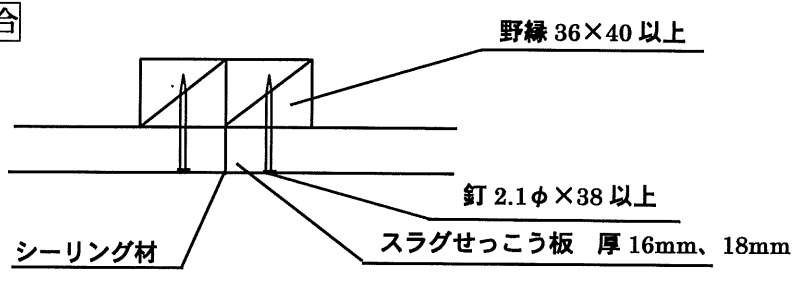
(単位：mm)



面取りの場合

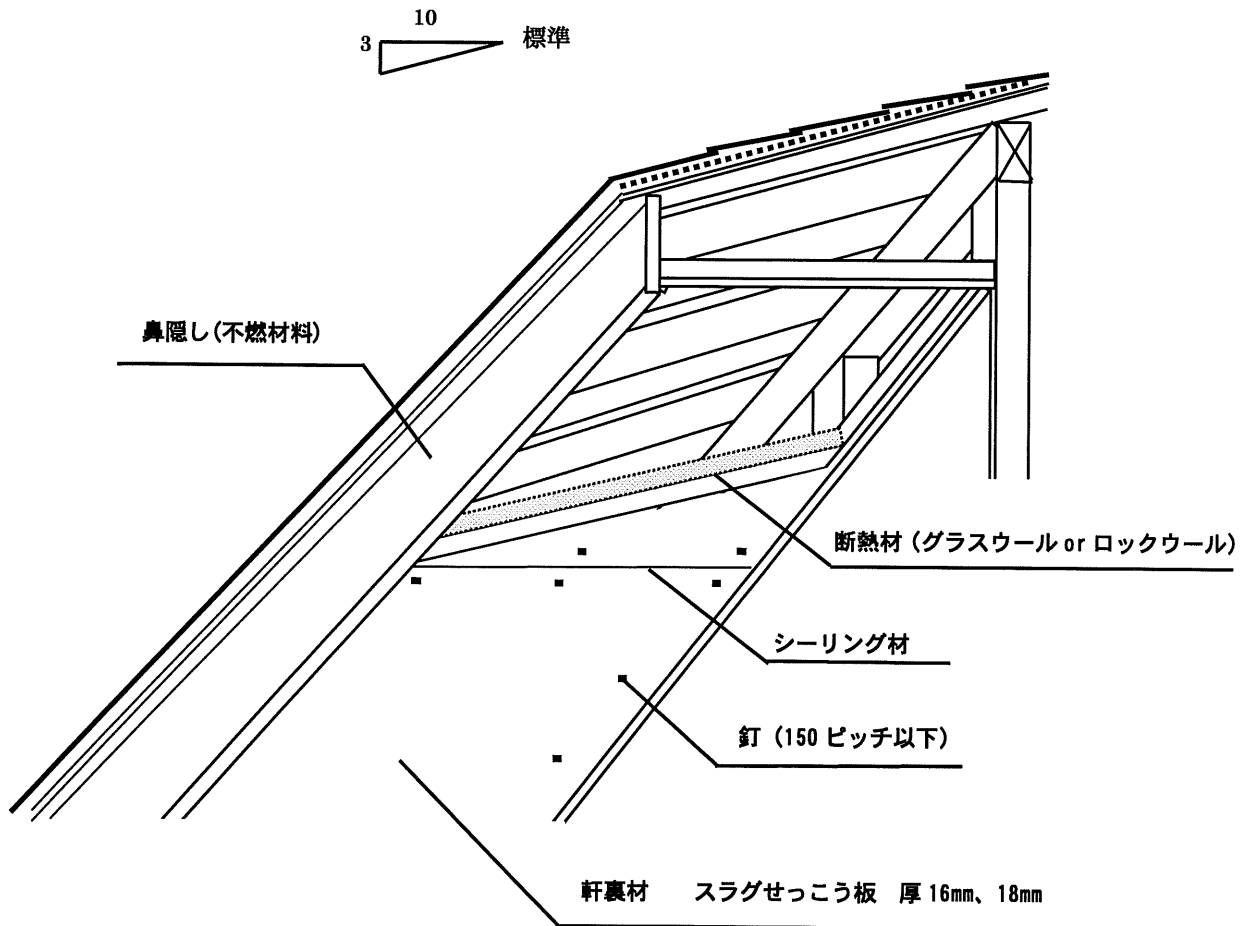


突き付けの場合



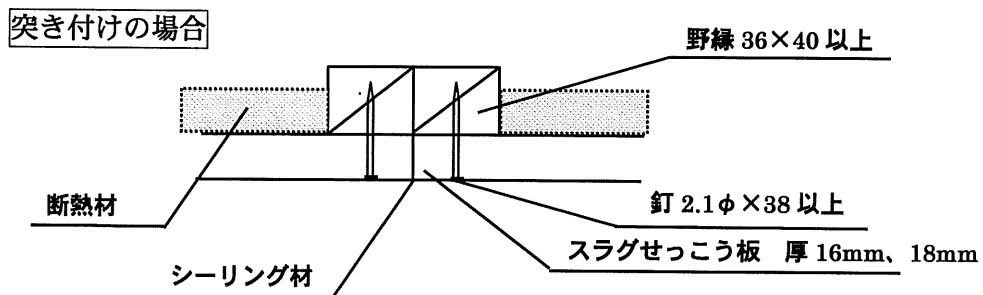
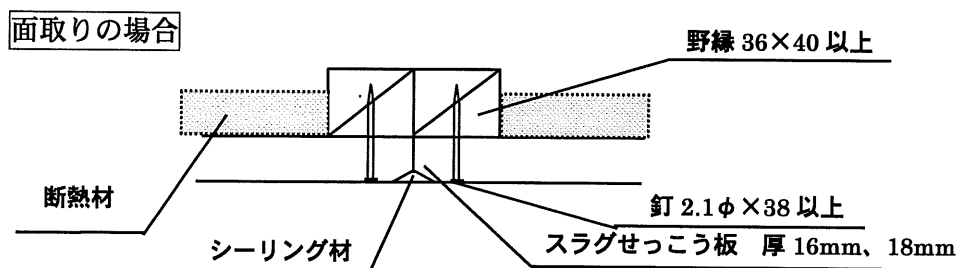
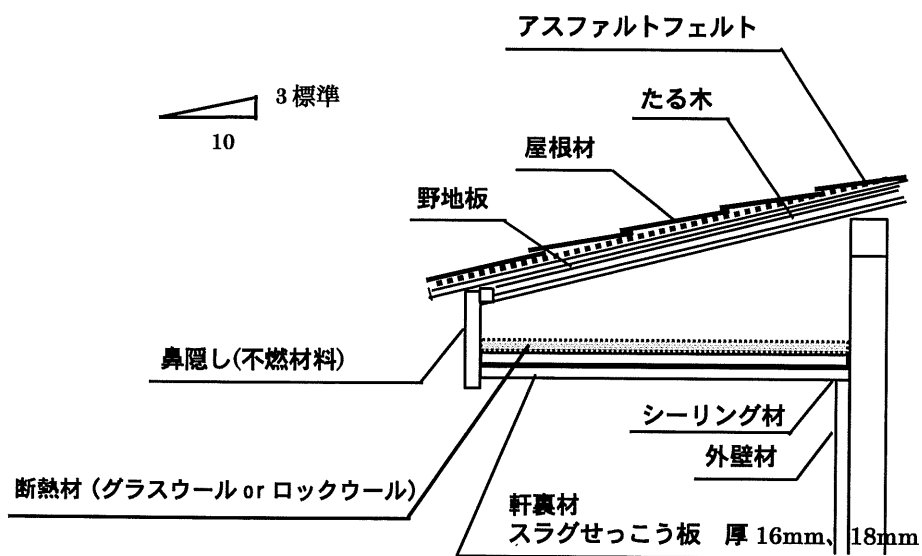
断面図及び断面詳細図

(単位：mm)



透視図(断熱材を張る場合)

(単位：mm)



断面図及び断面詳細図(断熱材を張る場合)

5. 施工方法

(1) 野縁

野縁の断面寸法は、軒の出が 500 mm 以下の場合、36 × 40 mm 以上とし、軒の出が 500 mm を超える場合、40 × 45 mm 以上とする。野縁の取付け間隔は、455 mm 以下とし、軒の出の最大寸法は、1,000 mm 以下とする。

(2) スラグせっこう板の取付け

スラグせっこう板は、φ 2.1 × 38 mm 以上の釘で、または φ 3.5 × 25 mm 以上のタッピンねじで 150 mm 以下の間隔で野縁に取付ける。釘またはタッピンねじは、スラグせっこう板の端部より 20 mm 以上離れた位置に取付ける。

(3) グラスウール断熱材またはロックウール断熱材

必要に応じて、グラスウール断熱材またはロックウール断熱材をスラグせっこう板の裏側に充填する。

(4) 目地処理

目地部は、アクリル樹脂系シーリング材等（100g/m 以下）による処理を行う。

(5) 表面仕上げ

防火上支障のない材料で仕上げる。